心と体をリラックス！！
第八回親子短期保養プログラム

２０１５年6月２５日

東日本大震災、そして福島原発事故から４年３ヶ月が過ぎました。国や行政は「福島原発事故」終息に向けて走り出しています。過日も「東日本大震災と東京電力福島第一原発事故に伴う１８歳未満の子どもの避難状況」を発表しました。「今年４月１日現在、県内、県外への総避難者数は２万３４９８人で、前回調査(2014年１０月１日現在)に比べ、１３７５人減った。除染や１８歳以下の医療費無料化、県独自の子育て支援策が帰還を促している一つの要因」と記していました。「安心・安全キャンペーン」が喧伝されています。

しかし、現実は住み慣れた故郷に帰ることもできない方、大きな不安を抱えながら留まり続けなければならない方、これから起こってくるであろうさまざまなことを考え押しつぶされそうになっている方、どれほど多くの方が心と体に疲れを覚えていることでしょう。

そのような方々が少しでも被曝の心配から離れて過ごすことができるように、そして、心も体もリフレッシュしていただける機会になればと願い、短期の保養ですが計画してきました。このプログラムは被災地に開かれたものです。教会が主催しますが、どなたでも参加できます。

期　　日　２０１５年7月３１日(金)～８月６日(木)　６泊７日
費　　用　プログラム中の食費や交通費、宿泊費などの経費は原則主催者が負担します。
フリータイム時の食事・交通費などは自己負担になります。
宿　　泊　北海道クリスチャンセンター(札幌市北区北７条西６丁目)
旭川豊岡教会（旭川市６条通２５丁目３７１）では大部屋での宿泊予定
引 率 者　布田　秀治　　電話・FAX　０２２－３７２－１７１２
募集人数　親子１０組　２２名（原則として小学生以上の親子）
参加資格　2011年3月11日に発生した巨大地震にともなう、津波・原子力災害が及んだ被災地域、且つ東北地方在住の親子ならどなたでも参加できます。

プログラム予定　（詳細は後日お伝えします）
７月３１日(金)　１２時４５分仙台空港集合。仙台発１３時４５分→千歳着１４時５５分
北海道クリスチャンセンター歓迎会、宿泊
８月１日(土)　交流プログラム
２日(日)　終日自由。各自教会へ。
３日(月)　旭川へ移動、旭山動物園。
４日(火)　カムイの杜で自由遊び。その後自由行動。
５日(水)　士別市にある五十嵐農場で農業体験、わかちあい。
６日(木)　千歳空港へ移動。千歳発１４時４０分→仙台空港着１５時５０分　空港で解散

問い合わせ・申し込み　〒９８０－００１２　仙台市青葉区錦町１－１３－６
電話・FAX　０２２－７９６－５２７２　Eメールアドレス　izumi@tohoku.uccj.jp
日本キリスト教団東北教区放射能支援対策室いずみ　親子短期保養係
郵便番号、住所、電話(含：緊急連絡先)、年齢(生年月日)、氏名(ふりがな)を明記下さい。
申し込み時に応募理由をご記入ください。

申込締切　７月８日（水）締切り（必着）。原則として初めての参加者を優先します。申込み多数の場合、締切り期限に関わらず募集を締切りいたします。参加決定については応募される理由などを考慮し、最終的には事務局で選考いたします。ご了承願います。また、選考された方には後刻必要な詳細を連絡いたします。

主　　催　日本基督教団東北教区放射能支援対策室いずみ・北日本宣教会議実行委員会
委員長　布田秀治
委員：小西望、邑原宗男、松浦裕介、久世そらち、日向恭司
協　　賛　日本基督教団東日本大震災救援対策本部